

未来は光でおもしろくなる

USHIO

第57期 株主通信

〔2019年4月1日～2020年3月31日〕
2020年6月発行

CONTENTS

Ushio Now!	P 2
社長メッセージ	P 4
事業の概況	P 6
特集 パンデミックが起こらない、 安心・安全な環境の実現を!	P 8
新型コロナウイルス感染症に 対する取り組み	P11
決算の状況	P12
株主さまとともに	P14

◆ ウシオとは

1964年に産業用光源メーカーとしてスタートしたウシオは、新光源の開発、独自の光学技術の開発・応用に努め、ユニットや装置、システム、さらには光のソリューションを提供する「光創造企業」へと発展してきました。その光技術は、「あかり」の領域だけでなく、産業や科学技術の先端分野で「エネルギー」として幅広く利用され、数多くの「世界シェア No. 1」製品を誕生させるとともに、今日では、バイオや農業、医療、環境をはじめとした、新しいビジネスフィールドを開拓しています。

◆ ウシオのマーケット

Electronics

半導体、フラットパネル、精密機器、電子部品、光化学、印刷、産業機器など

Life Science

医療、自然環境、農業、海洋／漁業、セキュリティ、エネルギー、宇宙開発など

Visual Imaging

デジタルシネマ／3D、プロジェクション・マッピング、バーチャルリアリティ（VR）／シミュレーション、監視／制御用映像表示システム、プロジェクター用光源、一般／商業施設用照明、景観照明・演出、ステージ／スタジオ照明・演出、オフィス・ドキュメント用光源など

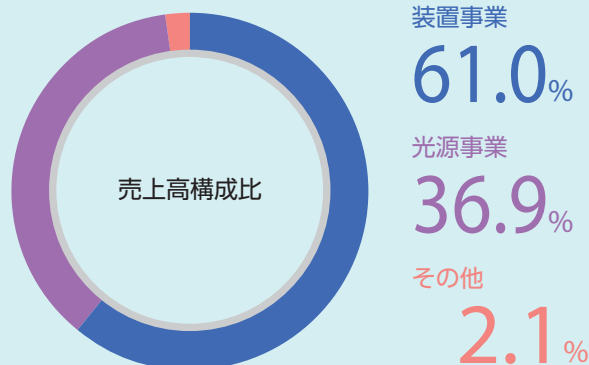
業績ハイライト (2019年4月1日～2020年3月31日)

売上高

1,590 億円

営業利益

66 億円



◆ グループ会社



〔装置事業〕 シネマ分野では全世界的な映画館の休業の影響によりシネマ用プロジェクターの納入が後ろ倒しになり、一般映像分野では、イベントの中止や延期、アミューズメントパークなどの商業施設の臨時休業および各国の入国・移動制限などにより各種映像装置の納入が後ろ倒しおよびレンタル案件がキャンセルになりました。光学装置では、プリント基板メーカーの稼働低下や一時工場停止による直描式露光装置(UV装置)の販売の後倒しにより、検収作業の遅れによる売上計上の遅れが生じました。

〔光源事業〕 全世界的な映画館の休業によりシネマプロジェクター用クセノンランプのリプレイス需要が減少しました。また中国においてFPD市場の一時稼働低下によるUVランプのリプレイス需要およびプロジェクター用途での需要が減少しました。

	〔装置事業〕 2019.3 ▶ 2020.3	〔光源事業〕 2019.3 ▶ 2020.3	〔その他〕 2019.3 ▶ 2020.3
売上高*	946億円 ▶ 970 億円	671億円 ▶ 585 億円	33億円 ▶ 33 億円
セグメント利益	△3億円 ▶ 3 億円	83億円 ▶ 60 億円	1億円 ▶ 0 億円

※ 外部顧客への売上高を記載しています。

社長メッセージ

2020年3月期の業績は、
新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、
減収減益となりました。
また、2021年3月期の業績予想および
新中期経営計画の公表は
延期とさせていただきます。

代表取締役社長

内藤 宏治



◆ 2020年3月期の業績について

2020年3月期の売上高は、前年同期比3.7%減の1,590億円、営業利益は同21.8%減の66億円、経常利益は同23.6%減の87億円、親会社株主に帰属する純利益は同20.8%減の89億円と減収減益となりました。

装置事業では、光学装置でIoT進展に伴う大容量かつ高速処理用データセンター向け需要等により各種露光装置の販売が増加しました。また、次世代半導体量産化

ニーズの高まりに伴い、EUVリソグラフィマスク検査用EUV光源の販売が増加しました。

映像装置では、映画館を中心にRGBレーザープロジェクターの販売が拡大しましたが2020年に入り新型コロナウイルス感染拡大による全世界での映画館および商業施設の休業、イベントの中止等により、各種映像装置の納入遅延や一部キャンセルが相次ぎ大きな影響を受けました。

その結果、装置事業全体としては前年同期比増収増益となったものの計画に対しては未達となりました。

一方、光源事業では、露光用UVランプについては、液晶パネルの供給過剰によるパネル価格下落や生産調整の影響に加え、新型コロナウイルス感染拡大による中国での稼働低下の影響により、リプレイス需要は減少しました。また、シネマプロジェクターやデータプロジェク

ター用ランプは、固体光源化によるランプ需要減少に加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響により世界各地の映画館が営業を停止し、リプレイス需要が大幅に減少しました。

その結果、光源事業全体では前年同期比減収減益となりました。

◆ 株主還元について

ウシオグループは、株主の皆さまに対する利益還元が企業としての最重要課題の一つであることを常に認識し、財務体質と経営基盤の強化を図るとともに、株主の皆さまに対し安定的・継続的な利益還元を行う事を基本方針としています。但し、これは持続可能な事業環境を前提としており、この度の新型コロナウイルス感染拡大

の影響を受けウシオグループ業績が悪化したことや、この先もしばらくは不透明な事業環境が続くと想定されることから、当期の配当金につきましては、普通配当を前期より24円減配し1株当たり26円と致しました。この結果、2020年3月期の連結配当性向は35.5%、連結純資産配当率は1.5%となりました。

◆ 2021年3月期の業績見通しおよび新中期経営計画について

世界各国での新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化することが懸念され、世界経済の先行きを見通すことが困難な状況が続くものと見込まれます。当社グループにおいても、各事業環境において不透明な状況が続いており、現時点で合理的な業績予想を示すことは非常に困難であるため、次期業績予想および新中期経営計画の公表は延期とさせていただき、予想可能となり次第、速やかに開示することといたします。

「あかり・エネルギーとしての光の利用を進め、世界の

人々の幸せと社会の発展を支える」—これがウシオの社会的ミッションです。従来の基盤事業を通して便利・快適な世の中を実現していくことはもちろん、今般のウイルスの脅威に対しても、例えば現在、一日でも早く感染拡大防止に貢献すべく「Care222TM※」の開発を急ピッチで進める等、ウシオの光が力になれることを進めるとともに中長期的に収益性を改善していく対策を行ってまいります。

※222nm紫外線殺菌・ウイルス不活化ユニット。詳しくは特集(P.8～10)をご覧ください。

事業の概況

事業環境

◆ エレクトロニクス分野

● 半導体・電子部品関連市場

- ・中国で大型液晶パネル向けに設備投資、今後の投資の主体はOLEDに移行
- ・パネル供給過剰によりパネル生産の稼働が低調
- ・スマートフォン販売不振により関連市場は低迷

● FPD関連市場

- ・4Q以降、新型コロナウイルス感染症拡大によりプリント基板およびFPDの稼働に影響

◆ ビジュアルイメージング分野

● シネマ分野

- ・4Q以降、新型コロナウイルス感染症拡大により需要に大きく影響
- ・映画館新設数は鈍化傾向
- ・個体光源（レーザー）プロジェクターの需要更新が徐々に増加

● 一般映像分野

- ・4Q以降、新型コロナウイルス感染症拡大により需要に大きく影響
- ・映像機器需要は堅調
- ・個体光源（レーザー）プロジェクターの採用が拡大

● OA分野

- ・OA機器需要は鈍化
- ・高付加価値な環境対応ランプ販売が増加

装置事業



映像装置

- デジタルシネマプロジェクター（DCP）
- 一般映像用デジタルプロジェクター、コントロールルーム、シミュレーター、デジタルサイネージ、バーチャルリアリティシステム、プロジェクション・マッピング



光学装置

- 半導体、フラットパネルディスプレイ（FPD）、電子部品製造用各種光学装置（露光装置、光洗浄ユニット、光硬化装置など）
- 紫外線治療器など医療機器
- マスク検査用EUV光源

光源事業



放電ランプ／LED・LD

- 半導体、FPD、電子部品製造装置用光源
- シネマプロジェクター用、データプロジェクター用、OA機器用、照明用および産業用光源

ハロゲンランプ

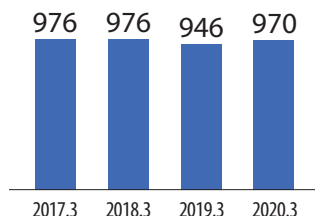
- OA機器
- 照明（商業施設、舞台・スタジオ、特殊照明など）
- 産業用ヒーターランプ

▶ 当期の業績／装置事業

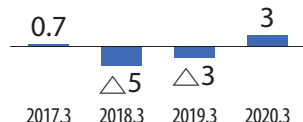
映像装置

- RGBレーザープロジェクターの販売拡大（シネマおよび一般映像）
- 構造改革によるコスト削減

売上高*（億円）



セグメント利益（億円）



光学装置

- 最先端ICパッケージ基板向け分割投影露光装置の増加
- マスク検査用EUV光源の販売増加

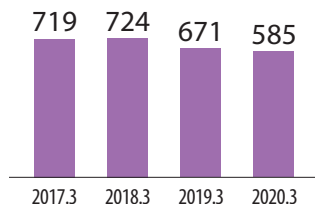
	（億円）			
売上高	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期
映像装置	670	627	569	578
光学装置	285	330	353	361
照明装置他	20	17	23	30

▶ 当期の業績／光源事業

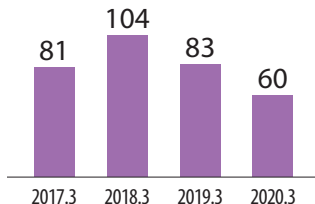
● シネマプロジェクター用ランプの売上減

- ・固体光源化による需要減少
- ・競争激化による価格への影響
- ・新型コロナウイルス感染拡大による影響

売上高*（億円）



セグメント利益（億円）



● UVランプの売上減

- ・液晶パネルの生産調整により、リプレイス需要減少
- ・パネルの供給過剰によるパネル価格下落により単価が下落

	（億円）			
売上高	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期
放電ランプ	597	599	558	479
ハロゲンランプ	121	124	113	106

特集 パンデミックが起こらない、安心・

222nmの紫外線波長による 新しい環境衛生ソリューション

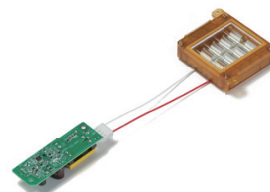


◆ Care222™とは？

人や動物の皮膚や目に安全でありながら、殺菌、ウイルスの不活化能力を保持した222nmの紫外線を主波長とした新しい殺菌用光源です。

当社では、今回のようなパンデミックが再び起こらない、安心・安全な環境を実現すべく、この新しい環境衛生ソリューションの展開に注力してまいります。

(2020年6月時点では開発中のため販売は行っておりません)



組込用モジュールタイプ



ユニットタイプ

◆ Care222™の特長は？

従来の殺菌用紫外光源にはない Care222™の最大の特長は、有人環境下でも使用可能であることです。天井など高い位置に光源を設置すれば、空間や環境表面における様々なウイルスや菌を不活化、殺菌することができます。

従来の殺菌用途紫外光源と 共通の特長

ノロウイルスや芽胞菌の殺菌も可能

耐性菌をつくらない

非接触・ノンケミカル。簡便な殺菌が可能



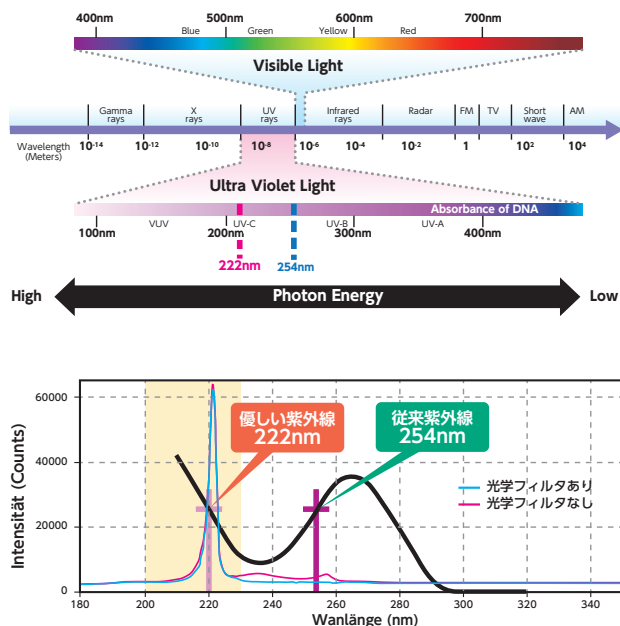
Care222™ならではの特長

有人環境下での照射が可能

水銀フリー、環境にも優しい

安全な環境の実現を！

◆ 人にやさしい紫外線波長222nm



紫外線は波長によって、UVA、UVB、UVCに大別されます。いずれも太陽光にふくまれる電磁波ですが、UVAおよびUVBはオゾン層を通過し地球上に降り注ぎ、日焼けや皮膚がんなどの弊害は良く知られています。

一方、UVCはオゾン層で吸収され地上に到達しませんが、その殺菌効果が良く知られており、光源として人工的に作られ、利用されてきました。しかし、UVAやUVB同様に有害な波長領域があり、その用途は限られてきました。

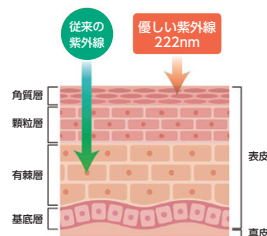
Care22™は222nmに主波長をもつエキシマランプと特殊なフィルターを組み合わせ、有害な波長を取り除くことで、人の皮膚や目にも優しい紫外線波長域 (200nm-230nm) のみの照射が可能になりました。

なお、本技術は米国コロンビア大学 (所在地: 米国ニューヨーク市) にて2012年に特許化され、当社は全世界における独占実施権を有しております。

◆ 人への安全性について

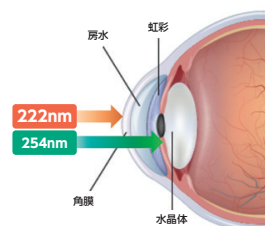
● 皮膚

222nmの波長は従来の紫外光源の254nmに対して皮膚の主成分であるタンパク質の吸収係数が高い (222nmの角質透過率は0.01%) ため、皮膚内部まで紫外線が浸透しません。



● 眼

222nmの角膜透過率は0.01%以下です。角膜が222nmを吸収するため、白内障のリスクもあります。



特集 パンデミックが起こらない、安心・安全な環境の実現を!

◆ 目指している貢献

2021年頃を目標

消毒・感染源除去による公衆空間の衛生度の向上

例: 病院の診察室・待合室・トイレ、介護施設、新幹線・飛行機・空港など

2025年頃を目標

薬剤耐性菌による院内感染防止

例: 手術室消毒、手術部殺菌など(医療機器)

◆ 現在の進捗と今後の課題

量産化に向けたアクションの実施

- ・国内各研究機関へのデモ機の提供
- ・モジュールは完成、ユニットは試作段階、使用環境に合わせた仕様検討で量産に向けた設備投資および実験・各種データの収集を継続

今後の課題

短期……大学と実証試験の蓄積を加速。安全性担保のための実証実験の蓄積および使用方法に対する対応

長期……薬機法などの認可取得に向け、加速させるための活動を開始



※画像はイメージです

◆ Q&A

●他の殺菌手段と比較してどんなメリットがあるのでしょうか

「光」を用いることで、非加熱・非接触・ノンケミカルな殺菌が可能になります。

●新型コロナウイルスにも有効ですか

米国コロンビア大学などで新型コロナウイルスに対する照射実験が進んでいます。結果が発表され次第、ホームページなどでお知らせいたします。

●商品化はいつですか

照明器具や衛生機器などに組み込む「モジュールタイプ」は2020年秋ごろから量産を開始し、メーカー向けに供給を開始する予定です。「ユニットタイプ」については日本国内向けに2020年9月から代理店経由で販売開始となる予定です。

●どこで買えますか、また個人でも購入できますか

現在はまだ開発中のため販売はしておりません。また、駅や病院、学校や老人ホームなど公共性の高いシーンでの使用を想定しており、個人のお客様への販売については現段階では未定です。

新型コロナウイルス感染症に対する取り組み



健康・安全確保を第一とした対応を実施

当社では、新型コロナウイルス感染拡大防止と事業継続の体制維持の観点から、在宅勤務の実施、不要不急の国内外出張の原則禁止、社内外の打合せにはテレビ会議や電話会議を積極的に活用するなど、取引先や従業員の健康・安全確保のための取り組みを実施しております。また、海外グループ会社でも、各国政府等の方針に基づき、健康・安全を

第一とした対応を実施しております。2020年5月13日現在、当社グループの生産状況は、ウシオフィリピンで一部製造ラインの停止はあるものの、その他の生産はほぼ通常生産体制を維持し、製品供給に大きな問題は生じておりません。

今後も社内外への感染被害抑止と従業員の安全確保を最優先に、適宜必要な対応を実施してまいります。



医療機関などに医療用マスクなどを提供



医療用マスク

ウシオが提供した医療用マスク(N95マスク)

当社は、新型コロナウイルス感染拡大により供給が不足している物資について、当社事業所のある兵庫県や静岡県御殿場市を通して医療機関などに無償提供いたしました。

なお、提供した物資はすべて当社にて備蓄していたものです。

●提供物資

1. 医療用マスク(N95マスク)※ 72,000枚
2. 防護服 120着
3. 保護メガネ 120個

医療現場でご尽力いただいている関係者の皆さまに敬意を表するとともに、一日も早い感染拡大の終息と社会経済活動の回復に向け、でき得る限りの貢献をしてまいります。

※ N95 マスク

NIOSH (米国労働安全衛生研究所) 規格に合格したマスクで、ウイルスを含んだ飛沫の侵入を防ぐことができる高性能なマスクです。医療施設などにおける日常業務での感染の可能性を最小限に抑えることが可能といわれています。



感謝状

当社の支援活動に対して、兵庫県知事より感謝状を頂きました

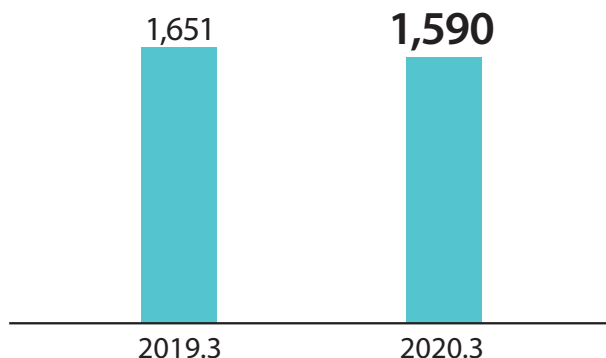
決算の状況

決算情報の詳細は当社ホームページに掲載しています。
<http://www.ushio.co.jp/jp/ir/>

◆ 売上高・利益の推移 (億円)

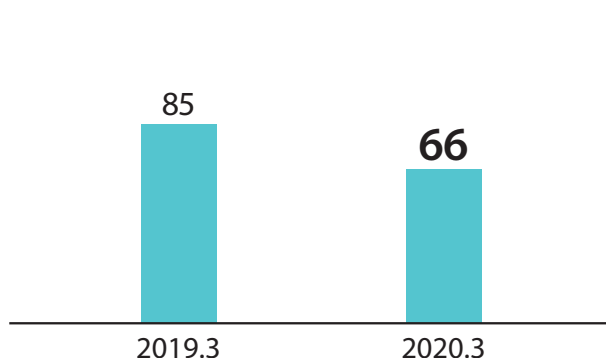
■ 売上高

前 期 比 $\Delta 3.7\%$ ↓



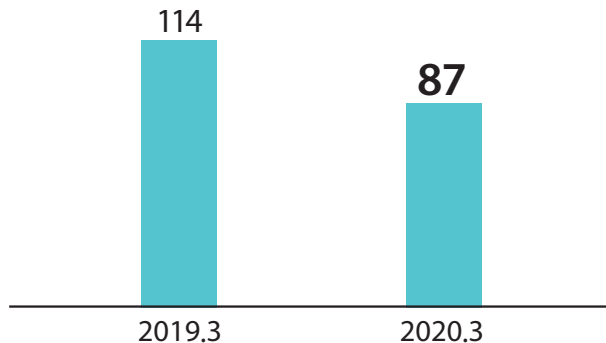
■ 営業利益

前 期 比 $\Delta 21.8\%$ ↓



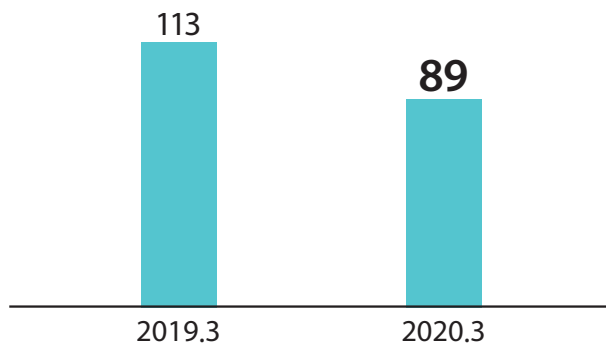
■ 経常利益

前 期 比 $\Delta 23.6\%$ ↓



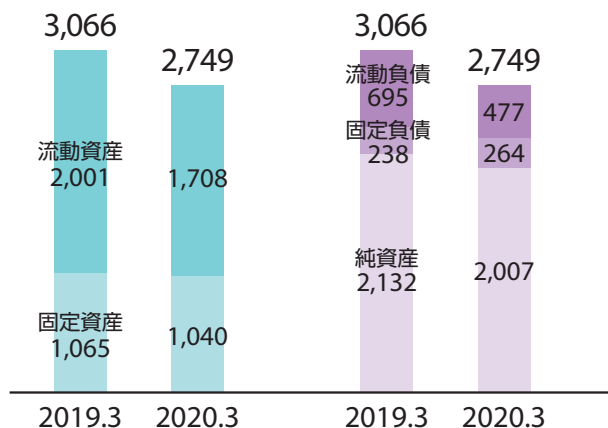
■ 親会社株主に帰属する当期純利益

前 期 比 $\Delta 20.8\%$ ↓



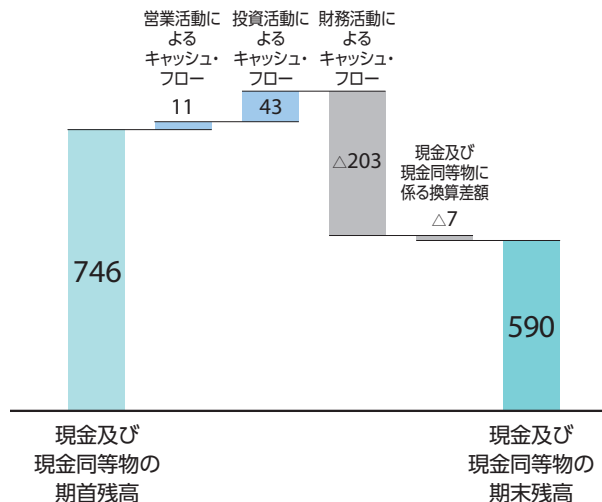
◆ 貸借対照表、キャッシュ・フロー (億円)

■ 資産の部



■ 負債・純資産の部

■ キャッシュ・フロー



財務担当役員からのメッセージ

2020年3月期の当社連結業績は、第3四半期まで概ね計画通りに進んでおりましたが、第4四半期に新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたことにより、通期で減収減益決算となりました。シネマ用ランプ、データプロジェクターランプは固体光源化により減少しましたが、RGBレーザープロジェクターの販売が大手シネコンチェーンや大規模イベント向けに拡大しました。また、従来から進めてまいりました映像事業の費用構造改革は計画通りに進捗し収益改善の効果が出ました。一方、最先端にパッケージ基板向け分割投影露光装置の売上が本格化し、次世代半導体用EUVリソグラフィ向けマスク検査用光源事業が軌道に乗り始めました。

足元では新型コロナウイルス感染症拡大の影響により映像装置関連市場を中心に当社業績に影響が出ております。当第4四半期には売上高で100億円、営業利益で30億円の影響がありました。現在も映画館・エンターテインメント産業の停滞による映像装置の需要減、消費低迷によるエレクトロニクス関連リプレイスランプの需要減、移動制限による光学装置

の現地立上遅延などが発生しております。次期通期業績予想は、これらの影響度合いを見定めた上で公表いたします。

2018年12月に公表した自社株買いは、2019年12月に計画通り買い付け終了いたしました。取得した自社株式は保有方針に則り2020年2月21日付で、発行済み株式総数の5%を上回る分として約6百万株を消却しました。当期の1株当たりの配当額は、新型コロナウイルス感染症拡大の業績への影響と、今後不透明な事業環境が続くことから公表より24円減額の1株当たり26円とさせていただきます。当社を取り巻く環境は不透明な状況が続きますが株主の皆様に対する利益還元が企業として最重要課題の一つであり、安定的な利益還元を行う基本方針に則り対応してまいります。

上級執行役員 経営統括本部長 朝日 崇文



株主さまとともに

株式の状況 (2020年3月31日現在)

発行済株式総数 127,000,000株

株主数 12,229名

大株主の状況 (200万株以上)

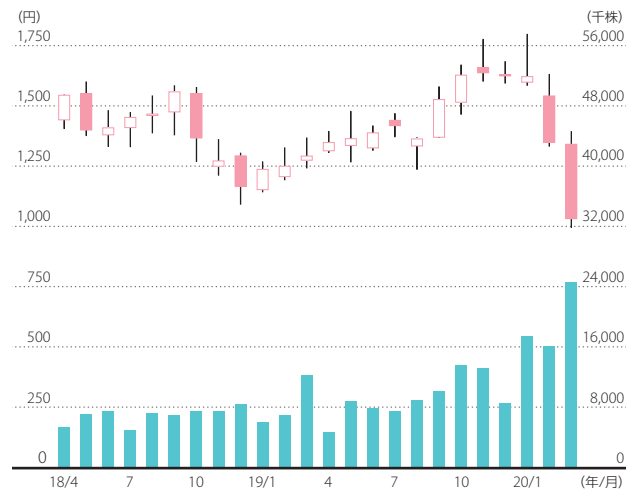
株主名	株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	12,216	10.11
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	6,450	5.33
株式会社りそな銀行	6,032	4.99
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	4,274	3.53
株式会社三菱UFJ銀行	4,248	3.51
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	3,462	2.86
朝日生命保険相互会社	3,305	2.73
ノーザントラストカンパニー エイブイエフシー リューエス タックス エグゼンプテッド ペンション ファンズ	3,064	2.53
牛尾治朗	2,636	2.18
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	2,421	2.00
公益財団法人ウシオ財団	2,400	1.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	2,248	1.86
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口7)	2,120	1.75
ジェーピー モルガン チェース バンク 385151	2,058	1.70

※上記のほか、自己株式が6,170千株あります。なお、自己株式6,170千株には、役員向け株式報酬信託制度に係る信託が所有する当社株式310千株を含んでおりません。

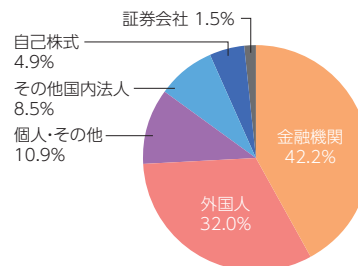
※持株比率は、自己株式6,170千株を控除して計算しております。

※大株主上位に記載されている各信託銀行は、主に国内機関投資家が保有する有価証券の管理事務を行っており、当該機関投資家の株式名義人となっているものです。また信託口とは、当該機関投資家から年金信託、投資信託、特定金銭信託等の信託を受けている口座を指します。

株価の動き／株式売買高



株式の分布状況



株主メモ

証券コード	6925
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 その他必要があるときはあらかじめ公告いたします。 なお、中間配当制度は採用しておりません。
1単元の株式数	100株
公告掲載URL	http://www.ushio.co.jp/kokoku ※やむを得ない事由により上記URLにおいて公告することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 および特別口座 管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
〈郵便物送付先〉	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〈電話照会先〉	0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00～17:00(土日休日を除く)
〈ホームページURL〉	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
〈よくあるご質問(FAQ)〉	https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal

各種お手続きに関するお問合せ先

お問合せの内容	一般口座 (証券会社の口座に記録された株式)	特別口座 (証券会社に口座のない株式)
・住所・氏名等の変更 ・単元未満株式の買取請求 ・配当金の受取方法の指定 ・相続	お取引の証券会社	三井住友信託銀行
・一般口座への振替	—	
・支払期間経過後の配当金	三井住友信託銀行	

会社概要

設立 1964年3月
資本金 19,556,326,316円

役員(2020年6月26日現在)

代表取締役社長	内 藤 宏 治
代表取締役	川 村 直 樹
取締役	神 山 和 久
取締役相談役	牛 尾 治 朗
取締役	牛 尾 志 朗
社外取締役	原 良 也
社外取締役	金 丸 恭 文
社外取締役	橘・フクシマ・咲江
社外取締役	佐 々 木 豊 成
取締役 (常勤監査等委員)	小 林 敦 之
社外取締役 (監査等委員)	杉 原 麗
社外取締役 (監査等委員)	須 永 明 美

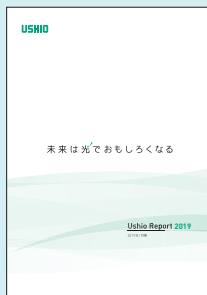
従業員数(2020年3月31日現在)

ウシオ電機本体	1,559名
国内グループ計	907名
海外グループ計	3,124名
合計	5,590名

発行:ウシオ電機株式会社 経営企画部
〒100-8150 東京都千代田区丸の内1-6-5
TEL: 03-5657-1007 FAX: 03-5657-1020

 <https://www.ushio.co.jp>

オフィシャルWebサイトもご活用ください



Ushio Report 2019

<https://www.ushio.co.jp/jp/ushioreport2019.pdf>



投資家情報

社長メッセージや決算資料など、
さまざまな情報を掲載しています。

<https://www.ushio.co.jp/jp/ir/>



CSR・環境

環境保全、社会貢献、
安全への取り組みなど、
さまざまな情報を掲載しています。

<https://www.ushio.co.jp/jp/csr/>



公式facebook

<https://www.facebook.com/ushio.group/>



この印刷物は、環境に優しい用紙と、ベジタブルインキを使用しています。